

川西市議会議員 **北上哲仁** きたうえあきひと

いなほだより

<http://www.kitaue.com>

2003年5月18日号
編集：北上哲仁サポーターズ
川西市萩原台東1-275-3
TEL 072-758-7724
FAX 072-758-7725
E-mail akihito@kitaue.com

1951年12月7日 第三種郵便物認可 社会新報/号外 社会民主党全国連合機関紙宣伝局週刊(水曜日発行)東京都千代田区永田町1-8- 電話(代)03(3580)1171
定価180円 1ヵ月700円 送料160円

活動報告

お元気ですか、北上です。



真夏を思わせる暑さの日、肌寒い日、不順な気候ですがお元気ですか。

3月の定例市議会では「交通政策」について質問をしました。環境問題、エネルギー問題、年間の死傷者が100万人を超える交通事故の問題等から、マイカーの利用を抑制し公共交通の利用拡大が必要であるとの認識がひろがっています。また「市民のモビリティ - (移動のし易さ)」を確保することの重要性も叫ばれています。

黒川地区を運行している京都交通の路線バスが本年6月に廃止予定だが、何らかの対策が必要ではないか。

能勢町と協力し、阪急バスに運行を委託することに。

市民の要望の高いコミュニティーバスの運行地域拡大を図るべきではないか。川西市市民バス検討プロジェクトチームで協議する。

昨年10月にまとめられたアンケートによれば、68.4%の回答者が「地区内巡回及び駅、病院を結ぶ小型バスの運行」を選んでいる。

西能勢違法駐輪は歩行者通行に支障をきたしている。放置自転車を撤去するなどしているが、余裕がある歩道に駐輪場を設置するべきではないか。難しい要望だが、検討する。

私が先日視察に訪れた東京都武蔵野市は、かつて「違法駐輪全国ワースト1」でしたが、駅前の歩道に駐輪場を設置することによって、その汚名を返上しています。練馬区や浦安市などでは歩道にワンコイン式の駐輪設備を設置し違法駐輪を減らしています。川西市広報(3月1日号)では、「地球温暖化防止のために自家用車通勤を止めて徒歩・自転車・公共交通機関を利用してください」と呼びかけています。そのためにも便利な駐輪場を増やすべきです。

高齢者・病気の方などを、要望に応じて自動車で送迎をする「カーヘルプ」ボランティアを、更に多くの市民に安心して利用してもらえるよう、制度化するべきではないか。制度化は難しい。ボランティアを含め、交通弱者の移動支援充実については検討する。

「カーヘルプ」ボランティアには現在20名の運転手が登録をされ、利用者は一日5・6名。月にして150件程度の利用があります。いくつかの課題があり、例えばマイカーを利用しており、万一の事故の責任は、運転手ご自分の加入する保険で対応しなくてはなりません。

路の渋滞時、通勤の自動車が狭い通学路を抜け道として利用しており危険である。根本的には渋



武蔵野市のコミュニティーバスを視察しました

滞を無くして行かなくてはならないが、今のところ通学路の安全確保は、運転手のモラルに頼らざるを得ないのではないか。教育委員会発行の広報誌で啓発記事を掲載することに。

交通政策は市民生活の質を左右する大切な課題です。今後とも市民の立場で交通政策の充実に取り組みたいと思います。

「子どもの人権オンズパーソン事業」廃止ではなく、改善・充実を

保守系3会派（智政会・自由市政会・新生緑風会）から2003年度の予算に修正案が出されました。「子どもの人権オンズパーソン」「市営葬儀」「市民平和バス」と新事業の「わくわく学習パートナー（英語や音楽等の臨時教員加配）」を廃止（または廃止に向け予算半額をカット）・廃案にする修正案が提出されましたが、これに私は反対しました。残念ながら＜賛成多数（定数30名のうち18名が賛成）で可決されました。

「オンズパーソン制度」について、私はその果たす役割は大きいと思っています。厳しい経済状況の一方であふれる商品と刺激的な情報、核家族化・少子化、薄れる地域の連帯感。そんな社会の中で、子どもたちを取り巻く環境は、いじめや学級崩壊、不登校、援助交際などつらい問題が山積しています。現場の教職員や保護者の努力だけでは太刀打ちできない場面もあり、一人ひとりか

けがえのない子どもを具体的に救済していこうとするオンズパーソンの働きが必要です。オンズパーソンの報告書には「子どもたちが自信と誇りを持つこと」、「周りの大人がお互いを信頼しあい、つながって子どもを支援していくこと」が重要であり、条例で定められたとおり「公的良心の喚起者」としての役割を果たしていくと記されています。年間の相談・調査は延べ800件を越え、市民からの理解も広がってきています。また国際的にも全国的にも注目され、高い評価を受けています。「理想と現実との間にギャップがある」「十分な役割を果たしてくれない」等、市民の不満の声を聞くこともありますが、廃止する方向ではなく中身を改善・充実することで子どもや市民の期待に応えていくべきだと思うのです。

（「オンズパーソン制度事業」の減額は

1228万9千円）

住基ネット訴訟、いよいよ7月に提訴

昨年10月来、「住基ネットに反対する会・川西」として住基ネットに反対する取り組みを進めてきました。その後、阪神間に広がり、会の名称を「いややねん！住基ネット市民の会」に改め、猪名川町・伊丹市・宝塚市・尼崎市・西宮市・芦屋市・神戸市の住民の方々と共に訴訟を起こすことになりました。

5月13日現在、7市1町で合計48名の原告が確定しています。6月中に必要な準備を完了し、7月4日提訴へ向けて「阪神住基ネット訴訟」（仮

称）がいよいよ動き出します。

年会費2千円で原告になれます。まだ訴訟に参加されていない方々、住基ネットにガマンならないという方々、一緒に裁判を起こしませんか。6月半ばを目途に原告を募集しています。

訴訟は阪神間7市1町の住民でおこなうことになりましたが、今後とも、住基ネットからの離脱を求めるなど川西の地域にねざした反対の取り組みを継続します。

住基ネット訴訟世話人 渡辺 静雄（大和西）

広域ごみ処理施設建設予定地に異議あり

私は川西市議会から選出され、「猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会」の議員を務めています。2月の定例会で質問に立ち、ごみ処理施設建設予定地に異議を唱えました。

奈良大仏の銅、京都二条城襖絵の顔料

予定地（国崎・黒川地区）は歴史的価値の高い文化財を包蔵しています。いくつも銅鉱石採掘坑道が残っており、この地から東大寺大仏建立のために銅を献上したとの伝承が残っています。中世から江戸期にかけては紺青・緑青（顔料）が製造され、京都二条城の襖絵に使用されたとする学説もあります。

多様な動植物が生息、京阪神でも稀な環境

また希少な動植物が多数生息しています。現地の環境調査を続ける「里地調査グループ」の発表によれば、建設予定地の里山には哺乳類18種類、鳥類58種類、爬虫類14種類、両生類10種類、魚類16種類、昆虫類1121種類、植物328種類の生息が確認されています。うち絶滅が危惧されるものが、90種あるのです。建設予定地内



国崎大山桜見学会(4月6日)

の坑道では環境省レッドデータ・ブックで絶滅危惧類とされるテングコウモリの生息が確認されています。これは単に洞窟があるから生息しているわけではありません。周囲の山は炭焼きや椎茸栽培のためのクヌギが植えられ、広葉樹林がひろがっています。広葉樹林であるがゆえに数多くの昆虫が生息し、それがコウモリのえさになり、台場クヌギにできる洞がコウモリの繁殖場所となっているのです。様々な好条件が重なり、微妙なバランスのうえにテングコウモリが生息する環境があります。国崎・黒川地区の里山ほど、多様な生物が生息するための好条件が揃っている場所は、京阪神でもきわめて稀です。

地元の中川ともこ衆議院議員が国会で質問

これまで日本の環境政策は人間の手が加えられていない原生林に注目をしてきましたが、環境省の「環境基本計画」でも人びとの生活と係った里山の重要性が認識され、「里地自然地域」について「すぐれた自然の的確な保全」が必要だと定められています。建設予定地の環境については国会でも取り上げられました。中川ともこ議員が衆議院環境委員会で里地里山保全の価値を訴え、「環境省の補助金によって（ごみ処理は環境省の管轄）豊かな里山を消すことになってもいいのか」と質しました。鈴木環境大臣は「どこにつくるかという選定に当たりましては、環境において重要性のたかいところなのか、そうでないのか、地域住民の皆さんの声を聞いて適切な場所が選定されるべきである」と答弁しています。

私は建設予定地を、いったん白紙に戻すべきだと思います。

■ イベント案内 ■

中川ともこ国政報告会スペシャル

「市民の声（暮らし）を変える」

とき 6月7日（土） 受付13時30分 開演14時

ところ アステホール

ゲスト 阿部とも子衆議院議員 ・ 小児科医

ちゅらかーぎー3周年記念パーティー

沖縄民謡の披露あり

とき 6月15日（日） 受付12時30分 開演13時

ところ 川西市文化会館大集会室

入場料 1500円（パーティーとはパーティーのこと）

次回川西市議会開催予定

6月10日（火）

～6月30日（月）

詳しくは議会事務局へお問い合わせください

740-1255

NPO法人 高齢者と歩む会「ひだまり」見学会

とき 7月7日（月） 午前中

参加ご希望の方はサポーターズ事務所か北上携帯090-3613-7069までお申し込みください。

（見学者数には限りがあります）

イラク戦争反対・有事法制反対の運動に取り組んでいます

「3.23アメリカの武力攻撃に反対し、イラクの人々に思いをはせる集い」



3月23日、多くの市民・労働団体・宗教者が呼びかけ「アメリカの武力攻撃に反対し、イラクの人々に思いをはせる集い」を開催。アステ歩道橋には150人の市民が集まった。それぞれに、リレートーク・詩の朗読・歌の披露などで平和への思いをアピール。北上は司会を務め「地域に暮らす私たち市民こそが命の尊さ、平和の大切さを身にしみて知っている。地域から粘り強く反戦の運動をひろげよう」と呼びかけた。

3月23日、多くの市民・労働団体・宗教者が呼びかけ「イラクの人々に思いをはせる集い」を開催。アステ歩道橋に150人の市民が集まった。

しごと・暮らし何でも相談

生活や仕事で困ったこと、不安なことはありませんか。ひとりで悩まないで、いっしょに考えましょう。

連絡先：サポーターズ事務所 758-7724 北上携帯：090-3613-7069
市議会控室：740-1111（内線4060）

顧問相談員 恵須川満延行政書士 小池貞二社会保険労務士 在間秀和弁護士

その他、税理士・社会福祉士・薬剤師・栄養士などの専門家スタッフ、国会議員・県会議員・市会議員などが、皆さんと力を合わせ問題解決に取り組めます。